

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 134

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092-641-1101)
内線 2256

目 次

- ◇ SPSSのレベルアップについて.....1
- ◇ カードの保管及び取扱い方法について.....1

◇ SPSSのレベル・アップについて

2月1日(火)にSPSSのレベル・アップを行い、プログラムRELIABILITY(信頼性係数)を追加しました。これに伴い以下の変更点がありますのでお知らせします。

- (1) コアの必要最小量が現在の42K語から45K語(うち作業領域1K語)にふえる。したがって、 \forall SPSS文のAREAパラメータで45以上を指定する時には、ジョブ種別をDジョブ以上にする必要がある。
- (2) ALLOCATEカードのTRANSPACEパラメータによる変換用作業領域の値の単位が、現在のK語から語に変わる。省略した場合の標準値は、(1)のAREAパラメータ指定による値の1/8となる。

(業務掛 電(内)2255)

◇ カードの保管及び取扱い方法について

入出力の手段としてカードは重要な役割を果たしていますが、このカードもささいな不注意の為、リードエラーやカードジャムの原因となり、カードリーダー操作上のトラブルを起こす結果ともなりかねません。

については、基本的なカードの保管・取扱い上の注意事項を下記に掲げてみましたので、これを参考にして各自取扱いには充分注意して下さい。

記

1. カードの保管方法

- 1) 保管場所 温度5℃~35℃、湿度30%~70%が好ましく、直射日光、通風の激しい場所、冷暖房装置の付近は避け、床面・壁に直接触れない場所。

- 2) 保管方法 カードキャビネットに入れて均等に圧力を加える。キャビネットがない場合には、カードの表側を下にして水平になるように置き、長期保管の場合は、ゴムバンド等は掛けない方がよい。

2.カードの取扱い方法

- 1) カードの取扱いは丁寧に言い、特にエッジを傷めないこと。
- 2) ほこり、油類等の付着による汚損がないようにする。
- 3) マジックインキ等をカードの頭に塗らない。
- 4) よく点検し、エッジや穿孔部が傷んでいるカードは使用しない。傷んでいる穿孔カードは複製して使用する。

(共同利用掛 電(内)2256)

利用の手引 ジョブ制御文編 訂正

頁	行	訂 正 後	訂 正 前
1	20 21	M-V/VII M-V/VI/VII	MVI/MVII MV/VI/VII
6	6 下4 下5 の次	このことはジョブ制御マクロの MAP NOLIST ソースプログラムを印刷する の次 印刷しない。	このことばジョブ制御マクロ NOLIST (追加事項)
8	18	▼翻訳時のパラメータ▼)](, (2,	▼翻訳時のパラメータ▼)] , (, (2,
9	11 12	名前 name	番地 reference
9 14 20 22		DOUBLE { (DOUBLE(1)) (DOUBLE(2)) (DOUBLE(3)) (DOUBLE(4))	DOUBLE { (DOUBLE(1)) (DOUBLE(2)) (DOUBLE(3)) (DOUBLE(4))
13	下8 脚注	CALL by reference*1 *1 この利用の手引ではCALL by referenceとCALL by name は同じ意味として使用している。	CALL by reference (追加事項)
16	1	FORTRAN-H ソースプログラムカード	FORTRAN ソースプログラムカード
19	20	(訂正前の部分をトル)	ただし、¥QJOBでJOBOUT=CORR
20	11	ジョブの性質	ジョブの特質
23	8 下3	3.1 ¥FORTJOB DOUBLE, CDEX	3.1 ¥FORTRAN-D DOUBLE
24	11	(エレメント名1-エレメント名2, ...)	(エレメント名1-エレメント名2), ...
25	7	(エレメント名1	エレメント名1
28	下3	(, SOURCE=FILE)](, LPFILE=m)	(, SOURCE=FILE)
29	19 の次	LPFILE 出力リストのファイル =m を区別したい時 指定する。	出力ファイル は区別され ない。
33	9	(エレメント名, ...)	(エレメント名, ...), ...

頁	行	訂 正 後	訂 正 前
35	中	例1) F10	例1) 主記憶量 ↑
36	上部		
38	5 6 11	SUB5 SUB6 CALL FORTLIBD	SUB4 SUB5 CALL FORTLIB-D
39	5	{, ERR=n}	{, ERR=m}
41	18	{, B4=0}	{, RB=0}
50	下5 下1	(訂正前の部分をトル) (訂正前の部分をトル)	② ¥PROFILE DT, F0256. EB ② ①のファイルを定義する.
51	6 下部	{, LIBFILE=ファイル名}{, LPFILE=m} LPFILE 出力リストのファイル 出力ファイル =m を区別したいとき (は区別され 指定する。 ない.)	{, LIBFILE=ファイル名} (追加事項)
53	15	(訂正前の部分をトル)	{, PLOTTER=USE}
54	1.1) 14	PLOTTER=USEの項全部をトル	
64	4	< { P. LIB } =YES > { E = (コメント名, ...) } < { A. LIB } =YES > { E = (コメント名, ...) } { E = (コメント名, ...) }	{ P. LIB } =YES, E=(コメント名, ...) { A. LIB } =YES, E=(コメント名, ...)
67	13 下11	{, OUTPUT=REMOTE}{, STEP=m} {, OUTPUT=REMOTE}{, DRTNO=n}	{, OUTPUT=REMOTE}

頁	行	訂 正 後	訂 正 前
68	6	{, TMOD=9}{, RECFM={ $\begin{matrix} V \\ U \end{matrix}$ }}	{, TMOD=9}
	14	9){, DISP=PASS){, FLADD=YES} {, RECFM={ $\begin{matrix} V \\ U \end{matrix}$ }}	9}
	17	{, TMOD=9){, DISP=PASS} {, RECFM={ $\begin{matrix} V \\ U \end{matrix}$ }}	{, TMOD=9}
	23	{, TMOD=9){, RCDSIZE=n} {, TRK=n){, RECFM={ $\begin{matrix} V \\ U \end{matrix}$ }}	{, TMOD=9}
	27	{, TMOD=9){, TRK=n} {, RECFM={ $\begin{matrix} V \\ U \end{matrix}$ }}	{, TMOD=9}
	31	{, TMOD=9){, RCDSIZE=n} {, TRK=n){, RECFM={ $\begin{matrix} V \\ U \end{matrix}$ }}	{, TMOD=9}

利用の手引 ショブ制御文編 訂正

頁	行	訂 正 後	訂 正 前
16	15	[TIME=mm. SS] [, CTIME=mmmm. SS] [, CORE=nnnK]	[TIME=mm. SS] [, CORE=nnnK]
	下6 の次	CTIME= コア占有時間 CTIME mmmm.SS を指定する =180.00	追加事項